
Catch the eye 2017年10月

2017/10/5 十五夜、望、十
(木) 三夜

昨日から急に寒くなった。でも週明けはまた27度ぐらいまで上がるらしい。本格的な衣替えは先延ばし。

昨夜は十五夜。大阪の月の出は午後5時前だった。「女性チャレンジ応援拠点」の担当日にあたったので、早めに行った。

「拠点」の部屋はガラスばかりで4階、東にむいている。着いた時、月はどこにも見えなかった。位置が悪ければビルに邪魔されるか…。

事務局との立ち話、開室の準備などをして、されどうだろうと東の空を見ると、いつのまにかマンションの左に出ていた、月が。

部屋の中より廊下の方が見やすい。来室者が訪れるまでの20分ほど、写真をとったり、じっと眺めたりして十五夜を愉しんだ。

今月の満月「望」は明日6日。今夜から明日夜にかけても雨の予報だから、残念ながら「望」を望めそうにない。

十五夜を見たから、十三夜も見なければ。さて十三夜はいつかとみると11月1日、この日も水曜日。どうぞ晴れますように。



2017/10/9 <話せる>
(月)

朝一番は雲が多かった。徐々に日が差してきた。一昨日の土曜午後からまた気温が高くなり、昨夜は寝苦しいほどだった。今日も同じような気温の予報。体育の日、熱中症に要注意？

仕事柄、人の話をよく聴く。喜怒哀楽の様々な経験、内に秘めた思い、意志。<話せる>相手と思われないと聴くこともできないが、たくさんの方がいる場でも、これまた同じ。

こういう人たちの場なら話してもいいと本人が思う。他ではあまり言っていないことも話そうという気になる。実際話すると、皆が熱心に耳を傾ける。感想や意見に勇気を得る本人。<話せる>場の真骨頂。

個別の相談でも、集合のセミナーや塾でも、いつも思う。『みんな、悩んで大きくなった』。前を向いた悩みは人をピュアにする、緊張感ある顔にいぶし銀の輝きがある。

はたからはそう見える。当の本人は苦しいだろうけど、その先に今の自分を超越する自分がある。そうこうして、いずれ当時を懐かしむことになっていけば、まがりなりにも自分の道を見つけて歩いているということ。

秋は行事が多い、セミナーや塾も多い。それらに参加する人のごく僅かな人たちの話を聴き、前途を予想し、社会の裾野に広がる個々人の多様なchallengeに、社会の基盤はここにあるという感。

2017/10/13 十年一昔
(金)

昨日は曇り時々雨。ここ数日の高い気温にはまいったけど、今日から平年並みに戻るらしい。来週にかけても曇りや雨が続くそうで、その後に秋本番。金木犀も香りだした。

先月末から『プロ講師になろう塾challenge!』が始まっている。2007年に初期のシリーズが始まって、今年で10年。4月に同窓会があったが、それに参加できなかった第2期の受講者が一昨日の「女性チャレンジ応援拠点」に訪ねてきた。思いがけないことだった。

すっかり忘れていたけど、2008年の応募は120名もあって、『抽選で60名に絞り込みましたと言われて、テンションがすごく上がりました』とか。多かったことだけはよく憶えている。簡単な自己紹介だけでかなりの時間がかかった。

時間はかかっても自己紹介は外せない。同じような思いをもつ人が自分以外にもたくさんいることを受講者同士が知り勇気づけられる機会だし、講師としては受講者個々人の企画の核心を探る上でも聞いておかなければいけない、なぜ、何をしようとしているのかを。

「こんなにハードだとは思いませんでした」とは一期、二期受講者共通の声。初期のシリーズは全30時間、期間は一ヶ月半に及んだ。ハードな分、最終日まで断念せず、企画書をつくり上げ、プレゼンに臨み、終えた受講者たちの達成感、開放感、熱気たるや…!

苦楽を共にした仲間。そういう感じになるのか、同期で今も交流が続いている人たちが少なくない。パートナーシップで活動を共にしているグループもある。やることは違っても志が通じ合える。そういう相手に出会えるのも、受講しようと思った自分自身のアンテナ。

2期の二人とも直前まで受講を迷っていたという。迷いをふりきって受講したから、仕事の機会を得て、自分の世界も広がった。自分で自分の前途を拓いたというわけ。「あの塾が原点なんです」。そう言えるということは、その後も努力を続けてきたという証。

2期の開催から来年で10年。今にいたる「原点」に思いをはせる時であり、次の10年に足がかりをつける節目でもある。十年一昔。

2017/10/19 学びと自信
(木)

雨続き、気温も低く、晩秋の季節感。台風も近づいていて、晴れ間は来週半ばになりそう。いつもの選挙なら投票日の天気も話題に出るところ。でも今回はあまり大勢に影響なさそう。

今朝の朝刊に、『囲碁AI「独学」で最強に』。ルールがはっきりしている囲碁だから可能という話だけど、AIも自分でしっかり勉強して強くなっていくというのが、おもしろい。

いずれ人間を超えるかもしれないけど、独学、自習の効果・意味は人間にとって別なところにもある。知識を自分のものにして、心からわかったという手ごたえを感じるようになると、自信がつく、自分を誇れる。

それが大事だとあらためて感じた。開業してまもない女性、積極的に自分を売ることができないという話。よくよく聞いてみると、ハウツーは習得したものの、深い学びをしていない負い目があった。

それを自覚したわけだけから、これからの実践を期待。どうあれ、自分を育てるのは自分。やるかやらないかの差は今小さくても、後になって大きな差。AIに自信や誇りは関係なくても、人間には未来を左右。

2017/10/23 考えることに慣れる
(月)

10月は雨続き。先週水曜日午前中に少し晴れ、その後はずっと。今朝ようやく日が差した。今週はまずまずよいお天気のように。今日は霜降、来月11月7日は立冬。

選挙は事前調査通りの結果になった。個人的にはこの結果が、世界の情勢とも絡み合って、ひいては30年後の日本をまったく別な国にしていると予想する。今の子供たちの住むこの世はいかに。

こういうことはいつも考えている。自他ともの色々なことに目が向く。これは持って生まれた資質としか言いようがない。だからこれまでもこれからも自問自答のためにも書き、自他ともの対話は続く。

「今ようやく自分のいき方を考えるようになりました」。そう話すアラフォー女性。よき妻、よき母であろうと生きてきたけど、自分個人としては初めてとか。「だからまだ慣れないんです」に、当方としては新鮮な驚き。

仕事や人生に想定外のことは付きものだし、遅かれ早かれ、いずれ自分で考え、行動しなければいけない節目は来る。だからそういうことを考える、哲学するのに慣れておくに越したことはない。

若い時の読書を勧める理由の一つはそれ。自分では経験していないことを自分いなりかわっているいろいろな状況をみせてくれて、物事の見方や考えなどを教えてくれる。

最近とみに読書の大事さを実感。若い頃に読書に馴染んでいてよかった。自分で考え、考える助けに読書あり、人との対話あり。どうあれ最終的意思決定は自分がする。自分を育てるのは自分。

2017/10/31 終わりの始まり
(火)

今日は晴天、昨日よりは少し気温があがり、日向は暖かい。昨日は寒かった。風も強かったから震え上がった。明日から11月、立冬も近い。そして明日は十三夜。

松原の創業塾が27日に、『プロ講師になろう塾』が29日に終わった。最終回を迎えて、受講者のみなさんは終りを始まりに、今後の実践を受講仲間を前に自身に向けて約束した。

個人的な経験からも、これまで出会った起業家や経営者たちからも、それぞれに変遷があり、ドラマがある。だからいつも、くどいほど繰り返す、今回の受講を明日につなげましょうと。

それも功を奏してか、締めくくりの最終回プレゼンでは、個々人の空気感を醸し出しつつ、どこかしら軸が定まった印象。期間中、考えて、考えて、考え続けたことで、心身が研ぎ澄まされたわけでもある。

前途にメリハリがついて、ふつふつと意欲がわいてくる。それを自分で獲得したのだから、未来の自分に誇っていい。意欲がわいてくる感覚は心地よいものだから、これからも努力を重ねる動機づけになる。

プレゼンを聴きながら、みなさん個々人にこれから始まる仕事と人生のストーリーがなんとなく見えてきた。その人ならではのストーリーが綴られていく。どうぞ未来のおたのしみに。